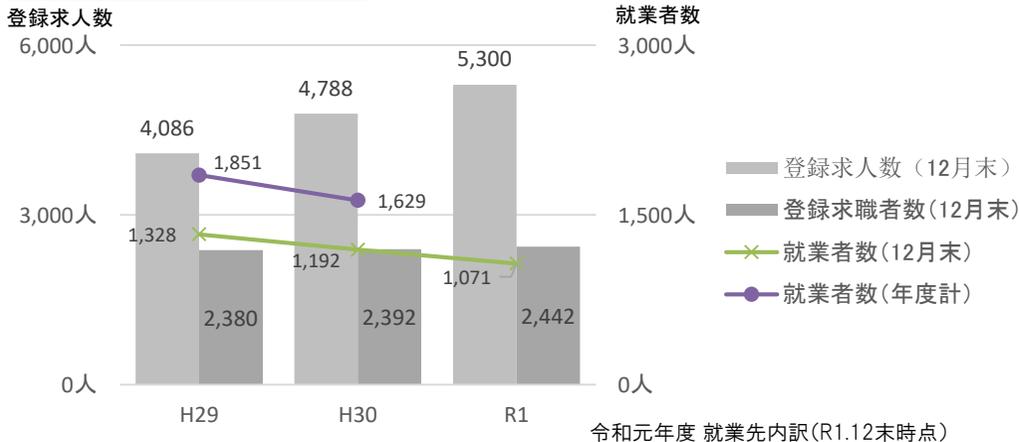


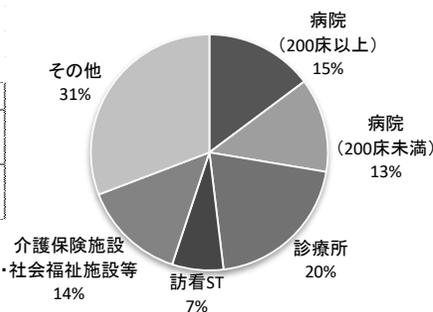
# I ナースバンク事業

## 求人・求職・就業者の状況



《参考》東京労働局(東京ハローワーク) 看護師・准看護師(常用)就業等実績

	H29	H30	R1	備考
有効求人数	8,754人	8,227人	8,199人	各年12月時点
有効求職者数	2,188人	2,365人	2,423人	
有効求人倍率	3.49	3.10	—	年度計
就業者数	2,400人	2,465人	—	



## 相談対応 (各年12月末時点)

### 対面相談対応件数

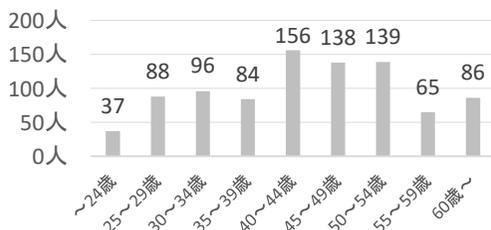
バンク、各種イベント、ハローワーク出張等での相談対応件数

	H29	H30	R1
東京	1,950件	2,081件	1,916件
立川	859件	826件	877件
合計	2,809件	2,907件	2,793件

### プランニングシート作成求職者数

初回来所相談時に求職者毎に作成するプランニングシート作成者数

H29	H30	R1
885人	1,139人	889人



## 就職相談イベント

### ナースバンク東京・立川における就職相談会 (各年12月末時点)

イベント名	地域	H30		R1	
		回数	求職者	回数	求職者
ふれあいナースバンク(就職相談会) (※1)	東京	3回	397人	3回	423人
	立川	回数	54施設	3回	54施設
		求職者	183人	184人	184人
	ミニ就業相談コーナー (※2)	東京	69施設	99人	66施設
立川		回数	67施設	3回	66施設
		求職者	67人	93人	93人

(※1)H30・R1ともに、東京と立川で4回ずつ実施(予定)

(※2)東京と立川での求人施設による就業相談(各所週2回実施、1回1施設)

### 自治体・医師会等と共催の就職相談会 (12月末時点)

主催	大田区	板橋区	練馬区	立川市	足立区
回数	1回	2回	2回	1回	1回
求職者	21人	34人	85人	27人	62人

大田区と足立区であと1回ずつ実施

### その他の取組 (各年12月末時点)

#### 看護実技体験

採血・静脈注射、心電図モニター、痰の吸引等の実技体験

参加者	H29	H30	R1
東京	44人	40人	—
立川	131人	97人	107人
合計	175人	137人	107人

※移転に伴い、R1は立川のみ実施

#### 施設セミナー

求人施設の管理者対象の看護職確保・定着対策支援セミナー

	H29	H30	R1
回数	2回	2回	1回
参加者	89人	70人	110人

#### 電話・メール・郵送

電話・メールによる相談対応や、メルマガ・ちらし発送による情報発信等

	H30	R1
求職者	170,632件	293,561件
求人施設	18,187件	25,811件

### 看護師等の届出制度 届出状況

	H30	R1
東京都	6,499人	7,906人
全国	86,011人	109,002人

# 令和元年度 東京都ナースプラザ事業実績

令和元年12月末時点

## II 研修事業

		コース数	定員数 [R1.12月末時点]	応募者数 [R1.12月末時点]	受講者数 [R1.12月末時点]
就業意欲を高める研修	再就業支援研修	4	152	207	134
資質向上を目指す研修	最新の知見・技術研修	16	1,030	2,863	1,218
	高齢者看護関連研修	7	320	871	380
	在宅・地域看護関連研修	11	420	764	482
	看護と安全研修	4	340	776	410
	今日的課題	3	110	232	130
	新人研修	1	120	243	152
定着を促す研修	リーダーシップ育成研修	6	330	708	358
長期研修	訪問看護師育成基本コース	1	30	25	23
	実習指導者研修	1	225	260	232
合計 (下段):平成30年度実績		54 (55)	3,077 (3,994)	6,949 (8,967)	3,519 (4,619)

## III 普及啓発事業

### 一日看護体験学習

中学生・高校生・社会人を対象に、都内医療機関で看護体験学習を実施

(下段):平成30年度実績

実施時期	5月実施				合計
	夏季実施				
対象	高校3年生	中学生	高校生	社会人	
申込者	481人 (449人)	151人 (183人)	1,393人 (1,171人)	74人 (94人)	2,099人 (1,897人)
参加者	412人 (388人)	141人 (172人)	1,268人 (1,082人)	64人 (91人)	1,885人 (1,733人)
受入施設 (延べ数)	96施設 (99施設)	51施設 (61施設)	169施設 (172施設)	36施設 (55施設)	352施設 (387施設)

## IV 看護職員地域確保支援事業

令和2年1月末時点

離職した看護職が身近な地域で復職支援研修・再就業支援相談等を受けられる就業支援の仕組みを整備することで、潜在看護職の就業意欲を喚起し、再就業の促進を図る。

### 手厚くしっかり体験コース

都が指定する地域就業支援病院(26施設)で実施

○受講者数(人)

	コース別					訪看ST・ その他施設	実人数(a)
	病院						
	1日 コース	5日 コース	7日 コース	7日 コース (助産)	延人数		
H29	30	124	78	4	236	53	233
H30	16	86	50	5	157	26	152
R1 [R2.1月末時点]	15	78	49	4	146	25	146

○就職者数(人)

	施設種別						合計(b)	就職率 (b/a)
	研修 病院	他病院	訪看 ST	クリニック	高齢者 施設	その他 施設		
H29	51	32	10	16	15	23	147	63.1%
H30	16	35	4	11	11	11	88	57.9%
R1 [R2.1月末時点]	17	12	2	5	4	4	44	33.8%

### 気軽にさくっと体験コース

協力施設(35施設)で独自に実施(平成30年度より開始)

○受講者数:30人、就職者数:7人

《平成30年度実績》受講者数:36人、就職者数:6人

## V 看護職員定着促進支援事業

二次保健医療圏ごとに看護師等就業協力員を配置し、各施設が実施する看護職員の定着対策の支援を通して、看護職員の定着促進を図る。

### アウトリーチ型支援

就業協力員が中小病院を巡回訪問し、助言・相談等を実施

支援病院数:11病院(令和元年10月から10病院)

	支援項目(延べ)				
	働きやすい 環境整備	業務改善 委員会	募集・広報	教育・研修	その他
H30	4	8	2	8	0
R1	7	6	2	10	4

### 集合研修型支援

(平成30年度より開始)

二次保健医療圏を中心とした看護管理者同士の研修会等の実施を推進。平成30年度に引き続き令和元年度も全二次保健医療圏(島しょを除く)の各看護管理者連絡会議に就業協力員が訪問し、事業説明や意見交換等を行った。11医療圏に対し、研修会等の経費補助予定。《平成30年度実績:9医療圏へ補助》